

縦割り A B 年度での指導



学年差に対応した 年間指導計画・評価計画の作成



家庭科

～調理実習・製作の工夫～

複式学級の家庭科の指導に多いA B年度方式とは？

単式での指導

5年生

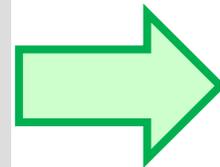
6年生

5年生
学習内容①

6年生
学習内容①

5年生
学習内容②

6年生
学習内容②



A B年度方式(2年間で2学年分の学習をする方式)での指導

【縦割り方式】

A年度

B年度

5年生
学習内容①

6年生
学習内容①

5年生
学習内容②

6年生
学習内容②

【横割り方式】

A年度

5年生
学習内容①

6年生
学習内容①

B年度

5年生
学習内容②

6年生
学習内容②



A B年度方式では、5・6年生が一緒に同題材を学習できますね。

1年次は5年生の内容を、2年次は6年生の内容を指導するというように、両学年の学習内容を2年間にわたって別々に配列した指導計画です。教科書の配列を参考にして指導することができます。

両学年の内容を混合して配列した指導計画です。系統性や順序性を考慮しつつ、「家族・家庭生活」「衣食住の生活」「消費生活・環境」の三つの内容をバランスよく2年間に分けた指導計画を作成する必要があります。

AB年度で年間指導計画を作ろう

同内容異程度指導を取り入れる

【メリット】

- 共通の指導場面が多く、一人一人に対して丁寧な指導を行うことが可能となります。
- 協働的な学習が可能となり、思考の多様化や深化、表現力の向上が期待できます。
- 教材・教具の準備や学習展開の効率化が期待できます。

同単元指導

【デメリット】

- 上学年の教材では、下学年にとって難しさがあり、下学年の教材では、上学年にとって易しい内容があるため、それぞれの学年に対応した指導や評価が求められます。
- 転出入や欠学年などへの対応を考える必要があります。

同内容同程度指導

学年の区別なく、同じ教材で同程度の指導をする方法です。授業の準備や指導は効率的にできますが、学年に応じた指導や評価に留意する必要があります。

同内容異程度指導

同じ教材を使って指導しますが、学年の違いによって実現すべき目標と内容の程度を変えて指導する方法です。学年に応じた指導や評価ができますが、授業の準備や指導は少し複雑になります。

児童の実態や学校の実情に応じて、家庭科の製作・調理実習では、「同内容異程度指導」を取り入れたAB年度方式で指導計画・評価計画を立てることがおすすめです。そうすると、部分的に複式指導を行うこととなります。



AB年度で年間指導計画を作ろう

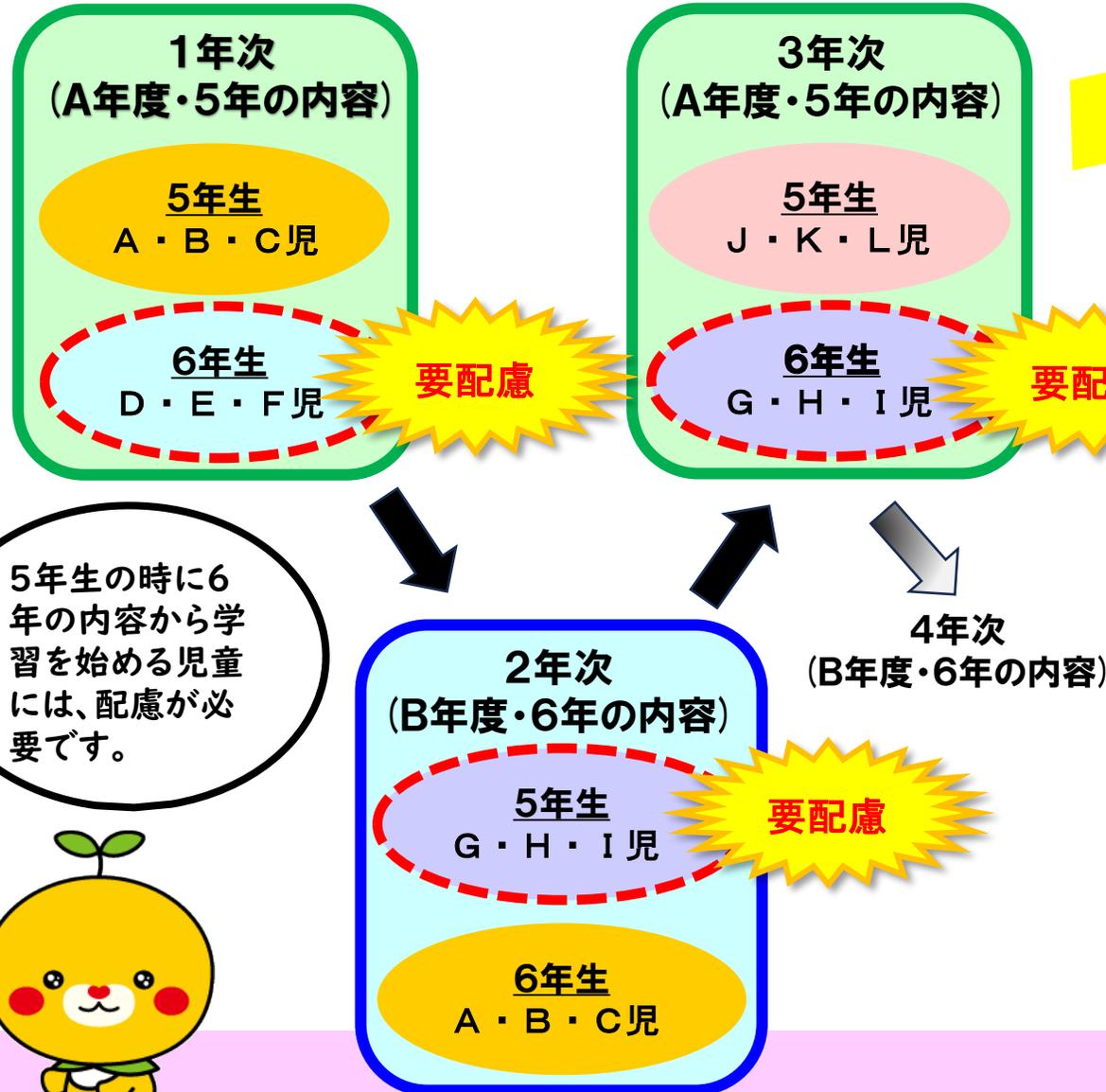
縦割りAB年度のよさと配慮すべき点

縦割りAB年度のよさ

教科書の配列を参考にして指導ができるので、一方の学年は、2年間とも当該学年の内容に沿って学習できます。

配慮すべき点は？

当該学年の内容でない時は、学年によって難易度が異なる場合があります。指導内容や方法、評価の仕方等に配慮が必要です。



A B年度で年間指導計画を作ろう

縦割り A B年度年間指導計画作成の例

毎年指導する内容は、
で表しています。

ガイダンスでは、家族の一員として家庭生活をよりよくするために家庭科でどのようなことを学び、どのような力を身に付けるかという2年間の学習の見通しを持たせます。5年生の最初に履修させることとなっているため、A B年度のどちらにも最初の指導内容として位置付けています。

A年度では、5年の内容を学習する6年生の児童に、難易度を上げて指導する内容を赤字で示しています。

6年生は、小物作りで刺しゅうを施すなどのひと手間を加えたり、ごはんのみそ汁におかず等を足した1食分の調理をしたりするなど、主に実習の内容を異程度にしています。

A年度(偶数年度 R02 R04) 5年内容				B年度(奇数年度 R03 R05) 6年内容			
期	内容	ページ	時数	期	内容	ページ	時数
一 学 期 二 十 時 間	ガイダンス			一 学 期 二 十 一 時 間	ガイダンス		
	目次、成長の記録、家庭科を学ぼう	1~5	1		目次、成長の記録、家庭科を学ぼう	1~5	1
	① 私の生活、大発見!				⑨ 見つめてみよう生活時間		
	1 どんな生活をしているのかな	6~7	1		1 生活時間を見つめてみよう	74	0.5
	2 自分にできそうな家庭の仕事を見つけよう	8~12	2		2 生活時間を工夫しよう	75~76	1
	① 家庭科室を探検しよう		(1)		3 生活時間を有効に使おう	77	0.5
	② お茶をいれてみよう		(1)		⑩ 朝食から健康な1日の生活を		
	お茶				1 朝食の役割を考えよう	78~79	1
	3 できることを増やしていこう	13	1		2 いためる調理で朝食のおかずを作ろう	80~84	7
	② おいしい楽しい調理の力				① 栄養バランスを考えよう		(2)
	1 調理の目的や手順を考えよう	14~15	1		② いためる調理の計画を立てよう		(2)
	2 仲で調理しよう	16~21	4		③ いためる調理をしよう		(3)
	① 仲で調理のポイントをつかもう		(2)		いろいろため、野菜の油いため、スクランブルエッグ		
	野菜のおひたし、ゆでいも				(5年・・・ガス、調理器具の使い方)		
	② 仲で野菜サラダを作ろう		(2)		3 朝食から健康な生活を始めよう		
	ゆで野菜サラダ				⑪ 夏をすずしくさわやかに		
	3 工夫しておいしい料理にしよう	22~23	1		1 夏の生活を見つめよう	86~87	1
	③ ひと針に心をこめて				2 すずしくさわやかな住まい方や着方をしよう	88~93	6
	1 針と糸を使ってできること	24	1		① 夏の住まい方を見直そう		(2)
	2 手ぬいこトライ!	25~29	7		すずしき調べ		
玉結び・玉止め、なみぬい、返しぬい、かがりぬい、ボタン付け、小物作り (6年・・・工夫を加えた小物作り)			② 快適な着方を考えよう		(1)		
3 手ぬいのよさを生活に生かそう	30	1	③ 手入れをしよう		(1)		
④ 持続可能な暮らしへ 物やお金の使い方			④ 手洗いで洗濯をしよう		(2)		
1 上手に選ぶために考えよう	32~33	1	手洗い				
2 買い物の仕方について考えよう	34~37	4	3 夏の生活を工夫しよう	94	1		
① 必要な情報収集、整理して商品を選び、買い物しよう		(2)	⑫ 思いを形にして生活を豊かに				
② 買い物の仕方について考えよう		(2)	1 目的に合った形や大きさ、ぬい方を考えよう	96~97	1		
③ 必要な情報収集、整理して商品を選び、買い物しよう		(2)	2 計画を立てて、工夫して作ろう	98~103	11		
④ 買い物の仕方について考えよう		(2)	トートバッグ、クッションカバー等				
⑤ 上手に暮らそう	38~39	1	(5年・・・手縫いの基本、ボタン付け、ミシンの使い方、きんちゃく、ぞうきん、エプロン、ランチョンマット、ウォールポケット等)				
⑤ 食べて元気! ご飯のみそ汁			3 衣生活を楽しく豊かにしよう	104~105	1		
1 毎日の食事を見つめよう	40	1	⑬ まかせてね 今日の食事				
2 日常の食事のとり方を考えて、調理しよう	41~47	8	1 献立の立て方を考えよう	106~107	1		
① ご飯のみそ汁を作ろう		(6)	2 1食分の献立を立てて、調理しよう	108~113	8		
② ご飯のみそ汁 (6年・・・栄養バランスを考えた献立)			① 1食分の献立を考えよう		(2)		
③ 食生活を工夫しよう	48~49	1	② 材料を準備し、調理しよう		(6)		
⑥ 物を生かすすみやすく			野菜のベーコン巻き、豆腐と野菜のチャンプルー、ベーコンポテト				
1 身の回りや生活の場を見つめよう	50~51	1	3 楽しく食事をするために計画を立てよう	114	1		
2 身の回りをきれいにしよう	52~55	5	生活を変えるチャンス! (課題発見、計画)	31, 61			
① 整理・整とんをしよう		(2)	生活を変えるチャンス! (発表、評価・改善)				
道具箱の整理・整とん			⑭ 冬を明るく暖かく				
② よこれに合ったそうじをしよう		(3)	1 冬の生活を見つめよう	116~117			
そうじ			2 暖かい着方や住まい方をしよう	118~120	3		
3 物を生かして快適に生活しよう	56~57	1	① 暖かい着方を考えよう		(1)		
⑦ 気持ちがあつなげる家族の時間			暖かさ、明るさ比べ				
1 家族とふれ合う時間を見つけよう	58	0.5	② 冬の住まい方を見直そう		(1)		
2 わが家族団らんタイム	59	1	③ 効果的に日光を利用しよう		(1)		
3 団らんを生活の中に生かそう	60	0.5	3 冬の生活を工夫しよう	121	1		
生活を変えるチャンス! (課題発見、計画)	31, 61	2	⑮ あなたは家庭や地域の宝物				
生活を変えるチャンス! (発表、評価・改善)	31, 61	1	1 家族や地域の一員として	122~123	0.5		
			2 私から地域につなげよう! 広げよう!	124~125	1		

B年度では、6年の内容を学習する5年生の児童に指導しておかなければならない内容を赤字で示しています。

5年生にとって初めての調理実習や、布を使った製作では、学年別に指導する必要があります。

「生活を変えるチャンス!」は、内容A(4)「家族・家庭生活についての課題と実践」に対応した題材であり、2学年間で1つまたは2つの課題を設定して履修させることとされています。ここでは、各学年の冬休みの計2回実践できるよう、計画を立てています。

AB年度で評価計画を作ろう

縦割りAB年度年間評価計画作成の例①

A年度(5年の内容) 調理

これはA年度(5年の内容)の題材なので、B年度ではどの題材が関連しているのかを示しています。これにより、6年生が前年度にどのような学習をし、どの程度の知識・技能が身に付いているのかが分かります。(P.5 年間指導計画・B年度「⑩朝食から健康な1日の生活を」「⑬まかせてね今日の食事」参照)

題材名 (B年度関連題材)	時数	学習のめあて	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
5 食べて元気! ご飯とみそ汁 (10 朝食から健康な1日の生活を) (13 まかせてね 今日の食事)	計10		<ul style="list-style-type: none"> 食事の役割と栄養について理解しているとともに、伝統的な日常食である米飯及びみそ汁の調理について、「健康・快適・安全」などの視点から課題を持ち、基礎的・基本的な知識及び技能を身に付け、調理計画を考え、調理の仕方を工夫することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 食事の役割と栄養、伝統的な日常食である米飯及びみそ汁の調理計画や調理の仕方について問題を見だして課題を設定し、さまざまな解決方法を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> 家族の一員として、生活をよりよくしようと、食事の役割や調理の基礎について、課題の解決に向けて主体的に取り組んだり、ふり返って改善したりして、生活を工夫し、実践しようとしている。
① 毎日の食事を見つめよう	1	毎日の食事を振り返り、どのような物を食べているのか考えよう。		《発言・記録》 ・健康においしく食べるための食事のとり方について問題を見だして課題を設定している。	
② 日常の食事のとり方を考えて、調理しよう	8	〈5年〉 伝統的な日常食であるご飯とみそ汁を作ろう。また、食事の役割や栄養バランスを考えよう。 〈6年〉 伝統的な日常食であるご飯とみそ汁を作ろう。また、食事の役割や栄養バランスを考えた1食分(朝食)の献立を立てて調理しよう。	《発言・記録・行動観察》 ・食事の役割が分かり、日常の食事の大切さと食事の仕方について理解している。 ・調理に必要な材料の分量や手順が分かり、調理計画について理解している。 ・調理に必要な用具や食器の安全で衛生的な取り扱い及び加熱用調理器具の安全な取り扱いについて理解しているとともに、適切に使用できる。 ・材料に応じた洗いや、調理に適した切り方、味の付け方、盛り付け、配膳及び後片付けを理解しているとともに、適切にできる。 ・伝統的な日常食である米飯及びみそ汁の調理の仕方を理解しているとともに、適切にできる。 ・体に必要な栄養素の種類と主な働きについて理解している。 ・食品の栄養的な特徴が分かり、料理や食品を組み合わせるとの必要があることを理解している。 ・ 献立を構成する要素が分かり、1食分の献立作成の方法を理解している。	《発言・記録・行動観察》 ・ 《栄養のバランスを考えた》 おいしく食べるために調理計画や調理の仕方についてさまざまな解決方法を考え、実践している。	《発言・記録・行動観察》 ・調理の基礎 調理の基礎・栄養を考えた食事 について課題の解決に向けて主体的に取り組もうとしている。
③ 食生活を工夫しよう	1	ご飯やみそ汁の調理で身に付いたことを家庭生活に生かそう。		《発言・記録・行動観察》 ・健康においしく食べるために、調理計画や調理の仕方について実践を評価したり改善したりしている。 ・健康においしく食べるために、調理計画や調理の仕方についての課題解決に向けた一連の活動について、考えたことを分かりやすく表現している。	・調理の基礎について、課題解決に向けた一連の活動を振り返って改善しようとしている。 ・家族の一員として、生活をよりよくしようと調理の基礎 調理の基礎・栄養を考えた食事 について工夫し、実践しようとしている。



6年生の調理



包丁で皮を取る6年生



ピーラーで皮を取る5年生

6年生は、前年度(B年度)に調理の基本や栄養のバランスを考えた食事について学習をしています。ここでは、そこで身に付けた資質や能力を生かした活動となるように、「栄養のバランスを考える」ことを赤字で加え、調理では、ゆでたりいためたりするおかず等も併せて1食分を作るようにして、学年ごとの目標が達成できるようにしています。

AB年度で評価計画を作ろう

縦割りAB年度年間評価計画作成の例②

B年度(6年の内容)調理

A年度(5年の内容)では、どの題材が関連しているのかを示しています。B年度から家庭科の学習をスタートさせた5年生の履修していない内容が分かり、配慮すべきことが明確になります。(P.5 年間指導計画・A年度「①私の生活、大発見!」「②おいしい楽しい調理の力」「⑤食べて元気!ご飯とみそ汁」参照)

B年度(6年の内容)の調理はこの題材が初めてなので、5年生には、ガスや調理器具の使い方、調理計画の立て方などの指導が必要です。調理計画の際に基本的な内容を押さえ、調理実習で確認しながら進めるとよいでしょう。

6年生が5年生に教えながら調理を進めると、自分の知識や技能を確かめるよい機会になります。



題材名 (A年度科関連題材)	時数	学習のめあて	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	5年生への指導事項と支援
10 朝食から健康な1日の生活へ (1 私の生活、大発見!) (2 おいしい楽しい調理の力) (5 食べて元気!ご飯とみそ汁)	計10	朝食の役割や調理の仕方、生活の視点から、課題を持ち、基礎的・基本的な知識及び技能を身に付け、調理計画を考え、いためる調理の仕方を工夫することができる。	●食事の役割と栄養を考えた食事、いためる調理について問題を見いだして課題を設定し、さまざまな解決方法を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	●家族の一員として、生活をよりよくしようと、食事の役割と栄養を考えた食事、調理の基礎について、課題の解決に向けて主体的に取り組んだり振り返って改善したりして、生活を工夫し、実践しようとしている。	①栄養バランスについて ②ガスの使い方 ③調理器具の使い方 ④調理計画(材料の分量、手順) ⑤材料に応じた洗い方、調理に適した切り方、味の付け方、盛り付け、配膳、後片付け ⑥実践の振り返り方
① 朝食の役割を考えよう	1	毎日の生活を振り返り、朝食の役割を考えよう。	<発言・記録> ・食事の役割が分かり、日常の食事の大切さと食事の仕方について理解している。	<発言・記録> ・楽しく食べるための日常の食事の仕方やいためる調理の計画や調理の仕方について問題を見いだして課題を設定している。	①「Aさんの朝食」(教p.78)や自分の朝食を見るポイント(食品数や栄養など)を与え、健康な食生活を具体的に考えさせる問題や課題に気付かせる。
② いためる調理で朝食のおかずを作ろう	7	いろいろな食品のいため方が分かり、栄養のバランスを考えた朝食のおかずを作れるようになる。	<発言・記録・行動観察> ・食品の栄養的特徴が分かり、料理や食品を組み合わせるとる必要があることを理解している。 ・調理に必要な材料の分量や手順が分かり、調理計画について理解している。 ・調理に必要な用具や食器の安全で衛生的な取り扱い及び加熱用調理器具の安全な取り扱いについて理解しているとともに、適切に使用できる。 ・材料に応じた洗い方、調理に適した切り方、味の付け方、盛り付け、配膳及び後片付けを理解しているとともに、適切にできる。 ・材料に適したいため方を理解しているとともに、適切にできる。	<発言・記録・行動観察> ・楽しく食べるための日常の食事の仕方やいためる調理の計画や調理の仕方について、さまざまな解決方法を考え、工夫している。	①～⑤について、調理計画を立てる中で具体的に指導し、実習を通して基礎的・基本的な知識・技能を身に付けさせる。 ①栄養のバランスの考え方 ②安全なガスのつけ方、消し方、火力 ③包丁の使い方 ④分量の考え方、調理の手順や分担 ⑤衛生面(洗い方、後片付けの仕方)や調理の仕方(切り方、かたさ、味付け、盛り付け、配膳)
③ 朝食から健康な生活を始めよう	2	朝食の学習を生かし、健康な生活を送るために家庭で朝食の計画を立てよう。	<発言・記録> ・楽しく食べるための日常の食事の仕方やいためる調理の計画や調理の仕方について、実践を評価したり、改善したりしている。 ・楽しく食べるための日常の食事の仕方やいためる調理の計画や調理の仕方についての課題解決に向けた一連の活動について、考えたことを分かりやすく表現している。	<発言・記録> ・日常の食事の仕方やいためる調理の基礎について、課題解決に向けた一連の活動をふり返って改善しようとしている。 ・家族の一員として、生活をよりよくしようと、日常の食事の仕方やいためる調理の基礎について、工夫し実践しようとしている。	⑥「活動」や調理手順、「できたかな?」を確認させ、実践を具体的に振り返ることを通して改善したい点や新たな課題に気付かせる。

AB年度で評価計画を作ろう

縦割りAB年度年間評価計画作成の例③

A年度(5年の内容)
布を使った製作

これはA年度(5年の内容)の題材なので、6年生は前年度に手ぬいの基本練習と、ミシンを使った生活を豊かにする物の製作を行っていることが分かります。
(P.5 年間指導計画・B年度「⑫思いを形にして生活を豊かに」参照)

作品づくりに
取り組む6年生



針と糸の使い方を
確認する5年生

題材名 (B年度関連題材)	時数	学習のめ	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
3 ひと針に心をこめて (12 思いを形にして生活を豊かに)	計9	生活を豊かにするための布を用いた手ぬいの製作について、「健康・快適・安全」の視点から、課題をもって基礎的・基本的な知識及び技能を身に付け、製作計画を考え、製作を工夫することができる。	●製作計画や手ぬいによる製作の仕方について理解しているとともに、適切にできる。	●生活を豊かにするための布を用いた物の製作計画や手ぬいによる製作について問題を見いだして課題を設定し、さまざまな解決方法を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	●家族の一員として、生活をよりよくしようと、生活を豊かにするための布を用いた手ぬいによる製作について、課題の解決に向けて主体的に取り組んだり振り返って改善したりして生活を工夫し、実践しようとしている。
① 針と糸を使ってできること	1	針と糸を使ってできることを見付けよう。		《発言・記録》 ・生活を豊かにするための布を用いた物の製作計画や手ぬいによる製作について問題を見いだして課題を設定している。	
② 手ぬいにトライ!	7	玉結び・玉どめ・なみぬい・返しぬい・ボタン付けが正しく安全にできるようになる。	《発言・記録・行動観察・作品》 ・ボタンの付け方を理解しているとともに、適切にできる。 ・手ぬいによる製作に必要な材料や手順が分かり、製作計画について理解している。 ・手ぬいによる目的に応じたぬい方及び用具の安全な取り扱いについて理解しているとともに、適切にできる。	《発言・記録・行動観察》 ・生活を豊かにするための布を用いた物の製作計画や手ぬいによる製作についてさまざまな解決方法(使いやすさや丈夫さ、デザイン性等)を考え、工夫している。	《発言・記録・行動観察》 ・生活を豊かにするための布を用いた手ぬいによる製作について、課題の解決に向けて主体的に取り組もうとしている。
③ 手ぬいのよさを生活に生かそう	1	手ぬいのよさを生かしてやってみたいことを考え、計画しよう。		《発言・記録・行動観察》 ・生活を豊かにするための布を用いた物の製作計画や手ぬいによる製作について、実践を評価したり、改善したりしている。 ・生活を豊かにするための布を用いた物の製作計画や手ぬいによる製作についての課題解決に向けた一連の活動について、考えたことを分かりやすく表現している。	・生活を豊かにするための布を用いた手ぬいによる製作について、課題解決に向けた一連の活動を振り返って改善しようとしている。 ・家族の一員として、生活をよりよくしようと、生活を豊かにするための布を用いた手ぬいによる製作について、工夫し、実践しようとしている。

6年生は、前年度に身に付けた資質や能力を生かした活動となるように、「使いやすさ」や「丈夫さ」などの観点を赤字で加え、応用的な作品づくりになるようにしています。



刺しゅうを施した
マスクケース(6年)

AB年度で評価計画を作ろう

縦割りAB年度年間評価計画作成の例④

**B年度(6年の内容)
布を使った製作**

B年度から家庭科の学習を始めた5年生は、手ぬいやミシンぬいの基本を学んでいないため、A年度の指導内容を確認して、ここで必要なことを指導します。(P.5 年間指導計画・A年度「③ひと針に思いをこめて」「⑧ミシンにトライ」参照)



ボックス
ティッシュ
カバー
(5年生)

題材名 (A年度関連題材)	時数	学習のめあて	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組むこと 5年生への指導事項と支援
12 思いを形にして 生活を豊かに (3 ひと針に思いをこめて) (8 ミシンにトライ!)	計 14	生活を便利に豊かにするための布を用いた製作について、「健康・快適・安全」などの視点から、課題を持って、基礎的・基本的な知識及び技能を身に付け、目的に合った製作計画を考え、製作を工夫することができる。	●製作計画やミシンぬいによる製作の仕方について理解できるとともに、適切にできる。	●生活を豊かにするための布を用いた物の製作計画やミシンぬいによる製作について問題を見だして課題を設定し、さまざまな解決方法を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	●家族の一員として、生活をよりよくしようと、生活を豊かにするための布を用いたミシンぬいによる製作について、課題の解決に向けて主体的に取り組んだり、ふり返って改善したりして、生活を工夫し、実践しようとしている。
① 目的に合った形や大きさ、ぬい方を考えよう	1	目的に合ったふくろなどを製作するために必要なポイントを考えよう。		《発言・記録》 ・生活を豊かにするための布を用いた物の製作計画やミシンぬいによる製作について問題を見だして課題を設定している。	①手ぬいやミシンぬいのよさ ②手ぬいの基本(玉結び・玉どめ・なみぬい・返しぬい・ボタン付け) ③ミシンの使い方 ④製作計画の立て方 ⑤実践の振り返り方
② 計画を立てて、工夫して作る	12	目的に合った布作品の製作計画を立て、安全に製作しよう。	《発言・記録・行動観察・作品》 ・ミシンぬいによる製作に必要な材料や手順が分かり、製作計画について理解している。 ・ミシンぬいによる目的に応じたぬい方及び用具の安全な取りあつかいについて理解できるとともに、適切にできる。	《発言・記録・行動観察》 ・生活を豊かにするための布を用いた物の製作計画やミシンぬいによる製作についてさまざまな解決方法を考え、工夫している。	①針と糸を使ってできることを考え、手ぬいとミシンぬいのそれぞれのよさを見付けさせる。 ①生活を豊かにする布製品のポイント(使いやすさ、丈夫さ、便利さ等)を与え、何を作りたいか具体的に考えさせることを通して問題や課題に気付かせる。 ②用具の名前や使い方の確認、手ぬいの基本(玉結び、玉どめ、なみぬい、返しぬい、ボタン付け)の練習を通して、用具の扱いに慣れさせる。 ③6年生を手本としてミシンの使い方(糸の掛け方・直線ぬい・返しぬい)を練習させる。 ④手順や目的に応じたぬい方のポイントを与え、目的に合った布製品にする方法を具体的に考えさせることを通して、製作が適切にできるようにする。
③ 衣生活を楽しく豊かにしよう	1	製作を通して学んだことを生かして、生活を豊かにする計画を立てよう。		《発言・記録・行動観察》 ・生活を豊かにするための布を用いた物の製作計画やミシンぬいによる製作について、実践を評価したり、改善したりしている。 ・生活を豊かにするための布を用いた物の製作計画やミシンぬいによる製作についての課題解決に向けた一連の活動について、考えたことを分かりやすく表現している。	⑤自分の作品や「できたかな?」を確認させ、実践を具体的にふり返ることを通して、改善したい点や新たな課題に気付かせる。

5年生はウォールポケットやエプロンなどの直線ぬいを基本とした物を製作し、6年生はトートバッグやナップザックなどを用途を考えながら工夫して製作する、というように学年によって製作する物の難易度を変えています。(P.5 年間指導計画・B年度「⑫思いを形にして生活を豊かに」参照)

ポケット
付きナッ
プザック
(6年生)





縦割りAB年度方式を取り入れると……

- ★教科書の配列を参考にして同題材を学習できるため、協働的に学ぶことが可能となり、思考の多様化や深化、表現力の向上が期待できる。
- ★共通の指導場面が多く、一人一人に対して丁寧な指導を行うことが可能となるとともに、教材・教具の準備や学習展開の効率化が期待できる。
- ★当該学年でない内容を学習する児童のために、難易度を考慮した指導の内容や方法、評価の方法について計画を立てる必要がある。

製作・調理実習で、同内容異程度指導を行うと……

- ★知識・技能ともに学年差が大きいため、学年別に異程度にした実習を取り入れることで、上学年は容易すぎず、下学年は負担感なく学習することができる。
- ★上学年が下学年に教える場面を設けることで、上学年の児童は反復学習ができ、これまでに身に付けた資質や能力の確実な定着につなげることができる。
- ★上学年の活動の様子を見ることで、下学年の児童は「来年はこんなことができるようになりたい。」と、目標や見通しを持って学習することができる。